

令和6年度

3学年 進路説明会

～令和7年度入試について～

1 日時 令和6年11月15日（金）13：50～15：20

2 会場 新潟市立光晴中学校 体育館

3 次第 進行：3学年主任

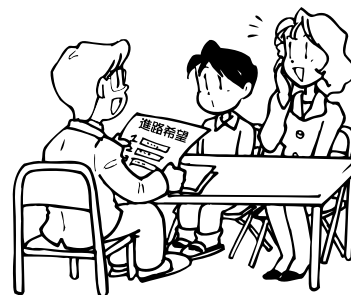
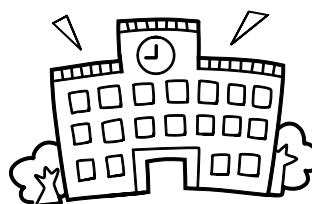
(1) 3学年主任のあいさつ

(2) 説明（進路指導主事）

- ・令和7年度入試の概要
- ・令和7年度入試の主な変更点
- ・かけもち受検、コース別の出願について
- ・出願基準がある入試、推薦について
- ・合否の決定、出願からの流れについて
- ・インターネット出願・合否照会について
- ・出願書類作成上のお願い
- ・県外受験について

（・各種奨学金や学費の減免制度について）

(3) 質疑・応答



新潟市立光晴中学校

進路説明会当日、この資料を持参してください。

希望進路を決めるために考えたいこと

～高校の先生方からのメッセージを紹介します～

高校はゴールじゃない

人生の長い道のりを考えると、高校は通り道の一つにすぎない。それをマラソンをしているときの給水所と考えるか、きつい坂道だと考えるか、ただの平坦な道だと考えるかは人によって違う。

10年後の自分をイメージせよ

「みんなが行くから受験する」ではなく、『将来、どんな仕事をしたいのか』をしっかりと考えた方がよい。そのために、10年後（つまり25歳くらい）の自分を想像して、何をしたいのかをよく考えるべきだ。

行きたい高校を自分で選べ

行きたい高校を自分で選んで、努力するから力が伸びる。高校に入ってから勉強して力をつけていかなければならないのだから、あきらめずに目標をしっかりもって努力を続けてほしい。

自分自身で自分の人生のことを考える力や意欲が最も必要

将来の自分の人生のために何が必要なのか、どんな勉強をするのか、自分で決めるのです。もちろん、先生は相談にのってくれますが、決めるのは自分です。夢や希望、意欲のある人でないと、どの高校に行っても伸びません。

ぜひ、家族で「私の（お子さんの）適性にあって『力が伸びる』高校はどこか」について十分に話し合い、後悔のない進路選択をしてください。

いよいよ進路選択の時です。

家族と、いつ頃までに、どこまで、相談しておけばよいのか？

～三者面談（12/10～13）までに、次のことを決めてください～

（1）第一志望校は公立高校か私立高校か。具体的にどこの高校・学科か。

・次の①～③にあてはまる場合は、12月の三者面談で受検校を最終決定します。

- ① 私立高校が第1志望校の場合。 →（2）を参照
- ② 公立高校の特色化選抜を受検したい場合。 →出願条件に注意してください。
- ③ 高専の推薦入試を受検したい場合。 →出願条件に注意してください。

・公立高校の一般入試の受検校を最終決定するのは、2月の三者面談です。

（2）私立高校が第1志望の人は、どの入試方法で受験するか。（推薦・専願・一般）

- ・**推薦入試と専願入試は合格したら必ず入学する生徒が対象です。合格後の辞退はできません。**
- ・推薦入試には高校ごとに必ず出願条件があります。（専願・一般でも、高校によっては出願条件があります。）
- ・推薦の可否は、推薦のための調査書作成委員会で確認した上で、校長が判断します。

（3）公立高校が第1志望の人は、私立高校の一般入試を受験するかどうか。

- ・私立一般入試は、公立高校や他の私立高校との「かけもち受験」ができます。
- ・私立一般は合格しても、入学手続きをとらなければ、そのまま入学辞退となります。
- ・高校によって出願条件がある場合があります。

1 令和7年度入試の概要

(1) 私立高校 ～それぞれの入試制度はどこが違うのか～

私立高校入試には様々な種類があり、出願条件や試験内容が異なります。第1志望か第2志望かによっても受験する入試が変わってきます。じっくりと考えて出願しましょう。

(資料：令和7年度 公立・私立受検要項一覧を参照。)

※私立高校入試の学力検査は国・数・英の3教科です。

① 合格したら必ず入学する入試

※各高校の入試区分によって条件が異なります。必ず要項で確認してください。

種類		出願条件	合否判定資料	実施高校
推薦入試	学業推薦 (1月)	<ul style="list-style-type: none"> 合格後、必ず入学する 中学校長の推薦が必要 調査書の出願基準あり 	①推薦書 ②調査書 ③面接	文理、敬和
	学業専願 (1月) 明訓はA方式 2月に実施	<ul style="list-style-type: none"> 合格後、必ず入学する 調査書の出願基準なし (明訓は出願基準あり) (清心は出願基準あり、学力検査なし) 	①調査書 ②学力検査 ③面接 <small>(学館・青陵は学力基準満たせば学力検査なしに)</small>	明訓、第一、北越 清心、文理、青陵 学館、敬和、開志 芝中 ※清心・敬和は2月も実施 開志は2月・3月・二次も実施
専願入試	スポーツ 文化活動 専願 (1月) 明訓はC方式	<ul style="list-style-type: none"> 合格後、必ず入学する 高校の部活顧問の事前了承が必要な場合あり 調査書の出願基準あり 	①調査書 ②大会成績 ③面接 ④実技テスト ⑤学力検査	明訓、第一、北越 青陵、清心、文理 学館、開志、 芝中 (※推薦)

② 他の高校とのかけもち受験が可能な入試

種類		出願条件	合否判定資料	実施高校
一般 (併願) 入試	一般入試 (1月)	<ul style="list-style-type: none"> 調査書の出願基準あり 	①調査書 ②面接	北越、青陵、文理 学館、敬和、開志 清心、芝中
	明訓はB方式 (明訓は2月)	<ul style="list-style-type: none"> 調査書の出願基準なし 	①調査書 ②学力検査	明訓、第一、開志
	一般入試 (2月)	<ul style="list-style-type: none"> 調査書の出願基準あり 	①調査書 ②面接	清心、開志
		<ul style="list-style-type: none"> 調査書の出願基準なし 	①調査書 ②学力検査 ③面接	北越、青陵、文理、 学館、敬和、開志 芝中

② 公立高校一般選抜の合格発表後に行われる入試

種類	出願条件	合否判定資料	実施高校
一般入試 (3月)	・ 調査書の 出願基準あり	② 調査書 ②面接	清心、開志
※公立一般 発表後	・ 調査書の出願基準なし	①調査書 ②面接 ③学力検査	第一、開志、敬和 青陵、学館、芝中 (※青陵・芝中は合格したら必ず入学)

(2) 公立高校

公立高校入試には三種類あります。平成27年度入試から始まった特色化選抜は、スポーツや文化活動などで秀でた実績がある人が対象ですので、全員が受検できるわけではありません。(大会・コンクール・検定等の実績要件があります。)合格したら、必ずその高校に進学することが前提です。(合格内定後は入学確約書を高校に公立 Web 出願システム上で提出します。)

3月の一般選抜は、出願条件はありませんので、全員が受検できます。

また、3月末に行われる二次募集は、この時点でどこの高校にも合格していない生徒が対象です。ただし、「県立高校に併せて出願することができる県内私立高校の入学選抜」に合格している生徒については、欠員補充のための二次募集に出願することができます。

種類	出願条件	合否判定資料	備考
特色化選抜 (2/10)	・ スポーツ、文化活動、科学分野の活動などで、 高校が示した実績要件を満たした生徒。 (COMPASSを参照) ・ 入学後も引き続き活動する意思が明確で、 中学校長の推薦 を得た生徒。	①調査書 ②面接 ③その他の検査 (実技検査や基礎体力テスト PRシート・作文など)	一部の高校で実施
一般選抜 (3/5・6)	・ 出願条件なし	①調査書 ②学力検査(国・数・英・社・理) ※定時制は国・数・英 ③ 学校独自検査 ・ 実技検査(中央音楽科等) ・ 面接(明鏡・翠江)	すべての高校で実施 ※学校独自検査は市内では一部の高校で実施
二次募集 (3/19)	・ ここまでの時点で いずれの高校にも合格していない生徒。 (「県立高校に併せて出願することができる県内私立高校の入学選抜」に合格している生徒は出願できる。)	①調査書 ②学力検査(国・数・英) ③面接	欠員が生じた学校・学科で実施

< 一般選抜の「学校独自検査」について >

①学校独自検査は、すべての高校ではなく、一部の高校・学科で実施されます。

②学校独自検査の概要 ※配点は100点から500点で、高校によって異なります。(COMPASSを参照。)

高校名	検査内容	検査の内容等
新潟翠江・市立明鏡	面接	・ 志望動機、高校生活への抱負、進路希望等、10分実施
新潟中央(音楽)	実技検査	・ 別に公示する「実技検査について」を参照(HP)

2 令和7年度入試の主な概要

1 公立高校

募集学級増減 (新潟市関係)	全日制課程1学級減：豊栄、新潟中央(普通)、白根 全日制課程1学級増：変更はありません。 定時制課程1学級減：変更はありません。
出願	昨年度より公立Web出願システムによる出願になりました。受験料の納付もシステム上で振込。県の収入証紙や現金による支払いは廃止。
特色化選抜	出願基準として、各高等学校における大会等の具体的な実績要件を満たすことが必要 新潟北(社会貢献)募集人数32名⇒24名に変更
特色化選抜	本人に帰責されない健康・身体上の理由により、やむを得ず、面接等を受検できなかった志願者については、「欠席理由書」を提出すれば、「推薦書」「調査書」を資料して、選抜を行う。
学校独自検査	実施するのは、面接(明鏡・翠江) 実技(新潟中央音楽科)
出題範囲と内容	全範囲から出題。思考力・判断力・表現力を重視する問題を出題。
出願手続き	公立Web出願システムにより、出願手続きを行う。 (収入証紙による受検料の振込も廃止)
自己申告書の導入	今年度より、いずれかの学年で欠席30日以上生徒で、希望する者は、欠席が多い理由、志望の動機、高校生活への抱負などを直接、高等学校に伝えるためのものとして、自己申告書を提出することができる。
合格発表	高校での発表&公立Web出願システムにより、結果を志願者に通知する。 ※合格した生徒は合格書類を受け取りに必ず高校に行く必要がある。
一般選抜	変更なし。今年度も同様の日程で実施 国数AM 英社理PM
追検査の実施	新型コロナ・インフルエンザ等の対応で追検査を3月10日・11日に行う。昨年度より「本人に帰責されない身体・健康上の理由によりやむを得ず欠席する者」も対象。
2次募集	本人に帰責されない健康・身体上の理由により、やむを得ず、学力検査等を受検できなかった志願者については、「欠席理由書」を提出すれば、「調査書」を資料して、選抜を行う。

2 私立高校

…新潟地区にあるすべての私立高校がインターネット出願に

高校名	入試の概要
新潟明訓	①A方式(専願)は出願基準あり。※募集要項に明記 ②A方式の調査書と学力検査の比率は7:3、B方式の調査書と学力検査の比率は3:7 ③受検料¥20000 ④ABC方式入試を2月4日・5日に実施。
新潟第一	①入試区分は、専願A(スポーツ専願)、専願B(学業)、一般(前期)、一般(後期) ②専願B、一般(前期)の調査書と学力検査の比率は5:5 ③専願Aでの吹奏楽の募集は廃止 ④受検料¥20000 ⑤専願AB・一般(前期)入試を1月30日・31日に実施。

高校名	入試の概要
北越	<p>①特進専願・専願 A(成績基準あり)・専願 B(成績基準なし)</p> <p>②コースは Int 特進と総合進学の2コース。総合進学の中に選抜・進学・アスリートの各クラス</p> <p>③「文化活動専願」 → 吹奏楽・書道</p> <p>④受検料 ¥20000</p> <p>⑤推薦入試を廃止</p> <p>⑥特進専願・学力専願A・学力専願Bを新設</p> <p>⑦特待奨学生の学業分野を新設</p>
新潟青陵	<p>①専願 A(成績基準あり)・専願 B(成績基準なし)・専願 C(部活動)</p> <p>②今年度よりコースはエンパワメントコース・キャリアデザインコース・キャリアアドバンスコースを一括くり募集</p> <p>③専願3月がある。</p> <p>④受検料 ¥20000</p>
清心女子	<p>①受検料 ¥20000</p> <p>②すべての入試区分で試験内容は面接のみ(学力検査なし)</p> <p>③SS コース(単位制)は万代キャンパスでの学習と本校での学習を併用</p>
日本文理	<p>①特進推薦コース及び特進推薦優遇制度(授業料免除)あり。</p> <p>②受検料 ¥20000</p>
東京学館	<p>①専願 A(成績基準あり)・専願 B(成績基準なし)</p> <p>②スポーツ・文化活動専願あり。</p> <p>③受検料 ¥20000</p>
敬和学園	<p>①推薦条件(高校入学後もその部活動を続ける意思がなくとも OK)</p> <p>②受検料 ¥20000</p>
開志学園	<p>①オンラインコースがある。</p> <p>②受検料 ¥15000</p>
加茂暁星	<p>①県内唯一の「看護科」がある。5年制</p> <p>②受検料 ¥15000</p> <p>③今年度より普通科は推薦・専願【A】・専願【B】・専願【C】、看護科は専願【α】・専願【β】</p>
新発田中央	<p>①専願・併願ともに、学力試験がある。</p> <p>②受験料 ¥20000</p> <p>③推薦または特別併願受検の生徒は給費生試験を受けることができる。</p> <p>④3月専願がある。</p>

3 長岡高専

入試選抜について	<p>①検査会場は長岡会場のみ</p> <p>②長岡高専の推薦入試は年内(12/18~20)に出願なので注意が必要。</p> <p>③インターネット出願</p>
----------	--



3 かけもち受験はどこが可能なのか



(1) 私立と私立の場合

<可能な組み合わせ>

- ①私立A高校の「一般」と私立B高校の「一般」を受験することは可能。(試験日が違う場合)
- ②私立A高校の「推薦・専願」と「一般」を両方受験することは可能。(試験日が違う場合)

<不可能な組み合わせ>

- ①試験日が同じ日時の2つの高校を受験することはできません。
- ②私立A高校の「推薦・専願」と私立B高校の「推薦・専願」を両方受験することはできません。
- ③私立A高校の「推薦」と「専願」を両方受験することはできません。

(2) 公立と私立の場合

<可能な組み合わせ>

- ①県立A高校の「一般」と私立B高校の「一般」を受験することは可能。
- ②県立A高校の「特色化」と私立B高校の「一般」を受験することは可能。

4 出願時にコース別に出願する高校

以下の私立高校は、**コース別に出願**します。(一部の入試の種類のみ)。

コース変更に制限があったり、コースによって入部できる部活動に制限があったり、学費の減免制度に違いがあったりします。十分に確認してから出願してください。

高校(学科)	選択できるコース	入試種別	第2志望の有無
新潟青陵 (普通)	①高大一貫コース ②普通・特進	推薦・専願 一般1・2・3月	専願・一般2月のみ高大一貫志望者は第2志望選択可。
開志学園	①週4日・2日・1日コース ②オンラインコース	特待・専願 ・一般A, B	第2志望選択可

※青陵の普通・特進は、3月実施のコース説明会後に決定。高大一貫は、合格発表時に決定。

5 出願基準がある高校を受けたいとき

(1) 公立特色化選抜・私立推薦入試

- ①私立高校推薦の希望者は、**11/29(金)**に**調査書の成績が出願基準に達しているかどうかを個別に伝達**します。
- ②公立特色化選抜・私立推薦入試希望者は、11/29(金)に「**受験確認書**」を受け取ります。
三者面談(12/10~13)の際に提出してください。(資料: **受験確認書**を参照)
- ③**推薦の可否**は、推薦のための調査書作成委員会で確認した上で、校長が判断します。
- ④**推薦の可否**は**12/16(月)**の放課後に**家庭へ個別に伝達**します。
- ⑤推薦が認められた場合は、出願手続きに入ります。
 - * 私立推薦は、**12/19(木)**朝学活**前**切で、出願手続きを完了し、「**出願票**」(入学願書)を提出してください。
 - * 公立特色化は、公立Web出願システムで出願手続きを行います。詳細については後日説明します。

(2) 私立高校（出願基準のある入試）

- ①11/29（金）に調査書の成績が出願基準に達しているかどうかを個別に伝達します。
- ②出願基準に達している場合に渡される「受験確認書」は、三者面談（1月・2月入試は12/10～13）の際に提出してください。
- ③12/19（木）朝学活^メ切で、出願手続きを完了し、「出願票」（入学願書）を提出してください。

6 どのような生徒が推薦されるのか

(1) 推薦の条件

- ・新潟県公立高校の特色化選抜の出願については、**令和7年度新潟県公立高等学校入学者募集要項の出願条件に基づき、推薦のための調査書作成委員会で確認した上で、校長が判断します。**
- ・高専及び私立高校の推薦入試に出願を希望する生徒については、**各学校から示されている入試要項に記載された「出願資格」に基づき、推薦のための調査書作成委員会で確認した上で、校長が判断します。**



(2) 推薦までの手順

- ①学級担任が十分な進路相談を行い、それを踏まえて「受験確認書」が保護者から提出された生徒を「推薦候補者」として、推薦のための調査書作成委員会へあげる準備をします。
- ②推薦候補者としてあげられた生徒が推薦出願の資格を満たしているかどうかを、推薦のための調査書作成委員会で慎重に確認し、校長が可否を判断します。

私立高校の推薦や公立高校の特色化選抜への出願を希望する場合は、「出願資格」をよく読み、資格を満たすかどうかを確認の上、進路相談や三者面談の際に学級担任と十分に話し合ってください。

7 合否はどのように決定されるのか

(1) 公立高校

- ①**特色化選抜** ※選抜資料の中で調査書の成績が占める割合は公表されていません。

「特色化選抜推薦書」、「調査書」、「面接の結果」、及び面接以外の検査を実施する学校・学科においては「当該検査の結果」を資料とし、入学者を選抜する。

- ②**一般選抜**

ア 調査書中の「各教科の学習の記録」の合計と「学力検査」の合計をそれぞれ1000点満点に換算し、あらかじめ示した調査書と学力検査の比重によって総合得点を出す。
イ アで算出した総合得点に「学校独自検査」の得点を加える。（学校独自検査を実施する高校のみ）
ウ 高等学校長はイ（学校独自検査を行わない学校はア）の得点を主な資料とし、これに「各教科の学習の記録」以外の調査書の記載事項をあわせて入学者を選抜する。

(2) 私立高校 高校によって異なります。

8 出願→入試→合格→入学までの流れ

0. 公立 Web 出願システムにおける志願者情報登録を事前に行います。(パスワードの設定が必要)
※公立 Web 出願システムについては、生徒用の iPad を使用して志願者情報登録や出願を行うことができます。(システム会社のメールのみ受信可能に設定されています。)



1 三者面談の際に、中学校に「**受験確認書**」を提出してください。(資料：受験確認書)



2 (公立) 受験確認書及び**出願確認書(公立 Web 出願システムから印刷)**で出願内容を確認し、**公立 Web 出願システムで「出願」及び「受検料の振込」**をしてください。
(私立・長岡高専) **インターネット出願**を行い、**出願票(入学願書)**を中学校に提出してください。
(※第一・敬和・開志国際は光晴中学校の用意した出願票に記入して提出してください。)



4 中学校長が出願を「**承認**」し、中学校職員が各高校に出向いて調査書等を提出します。



5 **入学試験**を受けます。



6 **合格発表**があります。合格した生徒は、高校から書類を受け取ります。



7 高校から示された**入学手続き**を行ってください。



9 インターネット出願・合否照会について

*学館・明訓・北越・青陵・文理・清心・開志・芝中は同じ会社のシステムを利用しています。

*第一・敬和・開志国際は同じ会社のシステムを利用しています。

*出願手続きの詳細については、高校によって若干異なります。詳しくは各高校のHPをご確認ください。不明な点はシステムを運営する会社に電話やメールで直接問い合わせることも可能です。

***私立高校については、生徒用 iPad から出願手続きを行わないでください。(メールの受信ができないため)**

参考(学館・明訓・北越・青陵・文理・加茂暁星・清心・開志のインターネット出願の場合)

①ユーザーIDの登録

・オープンスクール等ですでにユーザーIDを取得している場合は、改めて登録する必要はありません。

②メールアドレスの登録

③認証コードの入力

・登録したメールアドレスに送信されたメールに記載されている確認コード(数字)を入力

④パスワードの設定

・志願者の氏名及び生年月日を入力して、パスワードを入力

・双子の生徒などは、複数登録をしてください。2つのアカウントにはしないようにお願いします。

⑤ユーザーIDの登録完了

・ログインすると、「出願手続き」の画面に移行します。

⑥志願者の選択

・志願者の氏名をクリックして出願手続きに入る。申込履歴画面が表示されます。「新規申込手続きへ」をクリックする。

⑦入試区分の選択

・入試区分は絶対に間違えないようにご注意ください。

・複数の入試区分で受験をする場合は、再度同じ操作で2つめの出願を行います。

⑧出願情報の入力

・「必須」と記載されている箇所をすべて入力。それ以外の箇所の入力は任意。

⑨試験区分の選択

・具体的な試験の内容を選択

⑩申込内容の途中確認

・申込確認をクリックし、申込内容を確認する。申込内容確認書をクリックして、PDFファイルをダウンロード・印刷することも可能。

⑪お支払方法の決定

・受験料のお支払い方法(クレジットカード、コンビニ、ペイジー)を選択する。

⑫申込内容の確認

・申込内容に誤りがないかを確認し、チェックボックスにチェックを入れる。

⑬送信完了画面

・「学校からのお知らせ」を確認後、「マイページ(受験票出力)」をクリックする。

⑭受験票の表示

・「受験票」表示をクリックし受験票(PDF)を表示させ、印刷する。PDFをダウンロードし、コンビニ等で印刷することも可能。

・受検票は各自で保管。入学願書(出願票)は切り離して中学校に提出(12/20朝〆切)。

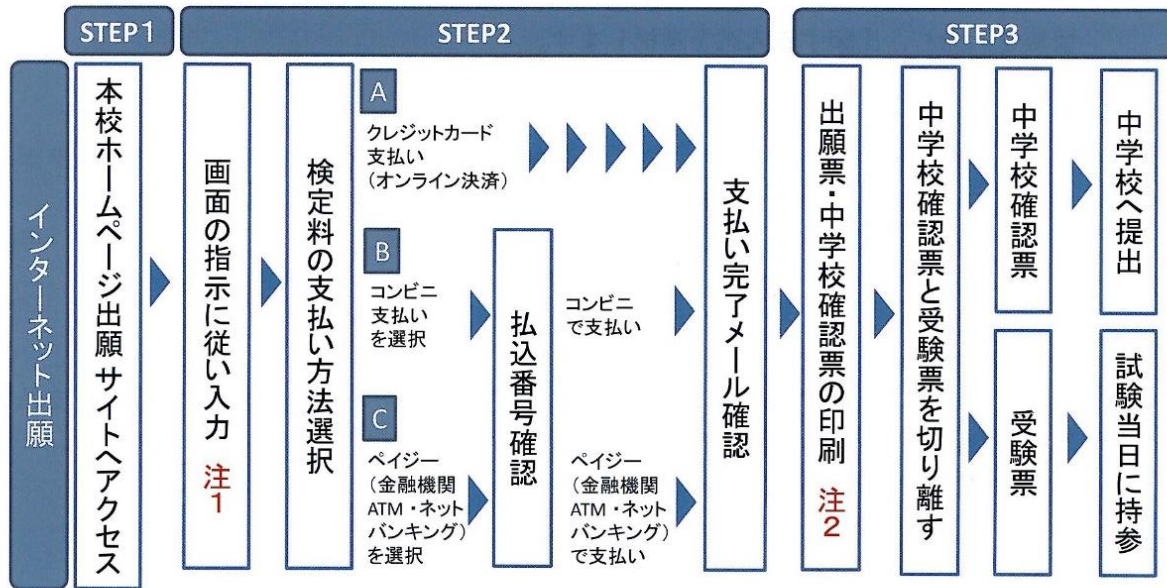
*出願完了の時点で受験番号が割り振られます。したがって同じ中学校でも連番にはなりません。

*高校によっては、写真が必要です。(明訓は受験票に写真貼付・第一と敬和はアップロード等)

***敬和・第一・開志国際では、出願票はありません。光晴中学校の用意した出願確認票に出願内容を記入して、中学校に提出をしてください。**

《インターネット出願手続きの流れ》

<インターネット出願手続きの全体イメージ>



注1 出願資格について、必ず事前に中学校の先生に確認してください

(↑北越高等学校の募集要項より抜粋)

(↓東京学館高等学校の受験票の見本)

<p>令和4年度 東京学館新潟高等学校 受験票 (中学校控え)</p> <p>受験番号 [] 男</p> <p>フリガナ ガクカン タロウ</p> <p>氏名 学館 太郎</p> <p>出身校 ○○○学校</p> <p>試験日 1月18日(火) 試験名 専願【スポーツ・文化】入学試験</p> <p>この受験票は試験当日持参して、机の上に置いてください。</p> <p>○持ち物 受験票、筆記用具、上履き、昼食【学力】のみ</p> <p>○時程 受付 8:30～8:45</p> <p>【学力】 国語 9:05～9:50 数学 10:05～10:50 英語 11:05～11:50 昼食 面接 13:00～15:30 頃</p> <p>※スマートフォン・携帯電話は電源を切り、鞆に入れて廊下に置いていただきます。</p> <p>※送迎バスの時刻についてはHPに掲載します。</p> <p>東京学館新潟高等学校 025-283-8857</p>	<p>令和4年度 東京学館新潟高等学校 受験票</p> <p>受験番号 [] 男</p> <p>フリガナ ガクカン タロウ</p> <p>氏名 学館 太郎</p> <p>出身校 ○○○学校</p> <p>試験日 1月18日(火) 試験名 専願【スポーツ・文化】入学試験</p> <p>○受験票・受験票(中学控え)を必ず切り取ってください。</p> <p>○中学校の [] 従い、 [] (中学控え) は切り取って [] 提出してください。</p> <p>【中学校の [] おかしい】 上記受験番号を確認の上、調書をご提出ください。 調査書の受験番号の記入は不要です。</p> <p>見本</p> <p>※記載されている内容は昨年度のものです。</p> <p>東京学館新潟高等学校 025-283-8857</p>
--	--

ここには受験に関する注意事項が記載されます。

※中学校に提出

※受験生が持参

10 <保護者の皆様へ>出願書類作成・提出上のお願い

1 校内ㄨ切厳守でお願いします

- ・中学校では、保護者の方の出願申込を受けてから、書類準備・点検・出願準備という三段階の作業を行います。また、書類に不備があつて受理されない場合に備え、早めに出願をしています。そのため、早めに校内ㄨ切日を設定しています。ご協力をお願いします。
- ・ただし、生徒の将来に関わることでありますので、校内ㄨ切日を過ぎたのちも、高校側の受付ㄨ切日時までは可能な範囲で対応いたします。ご相談ください。

<校内ㄨ切日一覧> ※都合により変更する場合は文書にてご連絡します。

	受験確認書ㄨ切	出願票 提出日
① 私立1月 (専願・一般) (明訓・第一含む)	12月三者面談時 <12/10~13>	12/19 (木) 朝学活時
② 私立1月 (推薦) 長岡高専 (推薦・学力)		12/19 (木) 朝学活時
③ 公立 (特色化)		1/17 (金) までに Web で出願 (詳細については個別に説明)
④ 私立2月 (専願・一般)	12月三者面談時 私立1月後に受験校が確定する 場合は1月進路相談時に提出	1月進路相談時 < 1/27 (月)・28 (火) > ※面談後出願ㄨ切をみて調整
公立 (一般) 私立3月 (専願・一般)	2月三者面談時 <2/5~7>	2月三者面談時 <2/5~7>

※1・2月の三者面談は、以下のように行います。詳しいご案内は年明けにお知らせします。

- ① 1月の結果で私立2月受験等を希望する人→ 1/27 (月) 又は 28 (火) に進路相談
- ② これまでに進路先が決定した人→ 三者面談は行いません。
- ③ 公立受検校の決定→ 2/5 (水) ~ 2/7 (金) に三者面談

2 願書について

- (1) 公立高校 ・公立 Web 出願システムにより出願するので、願書はありません。
- (2) 私立高校 ・インターネット出願の高校については、願書はありません。募集要項も HP からダウンロードしてください。

3 書類作成上の注意点

- (1) 書類はすべて**保護者の方が記入**してください。
- (2) 書き方の見本がある場合は見本にしたがって記入してください。
- (3) **黒**のボールペン、もしくはペンで、**楷書で丁寧に**記入してください。
※校内でやりとりをする受験確認書などもすべて同様です。鉛筆×
- (4) フリクションなど、**熱で消えるタイプのボールペンは使用できません。**
- (5) **修正液・修正テープは使えません。**間違った場合は二重線をひき、訂正印を押してください。訂正印は保護者欄に押した印鑑と同じものを使ってください。
- (6) 名前の字体は、11月に確認した字体で記入してください。(齋・辺・藤など)
字体が違っていると、高校に受理されない場合があります。

4 公立入試受検料の提出について

- (1) 2月の三者面談で志願先確定後、公立 Web 出願システムにて、受検料の支払い手続きに進みます。
- (2) 公立入試の受検料は、全日制…2, 200円 定時制(明鏡・翠江)…950円 です。
- (3) **支払方法は、「コンビニ支払い」「ATM振込」「クレジット決済」の3つです。**
- (4) 志願変更期間に志願先を志願変更する場合の受検料について
 - ・ 県立全日制⇔県立全日制の変更については、改めて納付の必要はありません。
 - ・ **県立全日制⇔市立全日制の変更については、改めて2, 200円を納付します。**
 - ・ 定時制も同様です。

<その他の確認事項>

0 事前

- (1) 新型コロナやインフルエンザの感染拡大が心配されます。日常的にマスクを着用し、手洗い、うがいの励行をご家庭でもご指導ください。
- (2) 受験確認書や出願票など、進路にかかわる書類の提出は、すべて緑色の**進路ファイルに入れて**やり取りを行います。個人情報ですので、取り扱いには十分ご注意ください。

1 入試当日について

- (1) 中学校職員の引率はありません。
- (2) 天候が悪くなる季節です。早めの出発と事前の下見をお勧めします。
- (3) 現地へはできるだけ徒歩かまたは公共交通機関の利用をお願いします。
(高校付近の道路での乗り降りや近隣施設等への駐車は絶対にしないようにお願いします。)
- (4) やむを得ず欠席する場合は、保護者の方が中学校にご連絡ください。(中学校から高校に欠席連絡をします)
- (5) 発熱や、咳等の風邪症状があった場合、受験できないことがあります。

2 合格発表について

(1) 私立高校

①第1志望校の場合(推薦・専願など)

- ・ 合格者を玄関前に掲示する高校へは、授業を途中で早退して合否確認に行ってください。
(合格発表の時間によっては、中学校に戻って授業を受けます。)
- ・ 高校によっては、指定された時間内に窓口で合格書類を受け取ることになっています。
- ・ 合格書類が中学校に届く場合は、翌日(又は当日)、本人に渡します。
- ・ インターネット出願の高校では、自分でマイページにログインして合否を確認する高校があります。合格通知書も自分でダウンロードする高校があります。各高校のHPをご確認ください。

②第1志望校ではない場合(一般)

- ・ 中学校に合否結果と書類が届く場合は、放課後(又は翌日)、本人に結果を通知します。
- ・ インターネット出願の高校では、自分でマイページにログインして合否を確認する高校があります。
- ・ 発表時刻が下校時刻よりも遅い場合は、各自で確認してください。

(2) 公立高校

①特色化選抜

- ・中学校及び志願者に公立 Web 出願システムから合否結果が通知されます。放課後本人に通知します。合格内定の場合、入学確約書を公立 Web 出願システムから提出します。
- ・合格発表予定時間は、県HPに掲載されます。
- ・**合格発表は一般選抜と同じ日になります。**確実に高校へ合格手続きに行ってください。

②一般選抜・二次募集

- ・各自で合否確認に行ってください。公立 Web 出願システムからも通知されます。
- ・県HPでの合格発表はありません。
- ・指定された時間内に高校の窓口で、**必ず合格書類を受け取ってください。**
※過去に、合格書類と受け取りに来ていないと、高校から連絡をいただくケースがありました。

3 入学手続き

- ・公立、私立とも、**保護者の方が各自で入学手続き（入学金の納入を含む）を行ってください。**
- ・締め切り厳守です。手続きが遅れますと**合格取り消し**となりますのでご注意ください。
- ・高校が指定する日に生徒が登校し、オリエンテーションや制服の採寸を受けてください。
- ・無断欠席をすると合格が取り消しになる場合があります。

【私立一般（併願）合格の上で、公立二次募集を受ける場合の注意】

公立二次の入試日は、私立入学手続き〆切より後です。手続きが必要な場合は公立二次の結果を待たずに入金することになります。手続きを〆切日までに行わなかった場合は私立の合格は取り消しとなります。ご注意ください。

4 高校への問い合わせについて

(1) 出願から合格発表までの間

- ・中学校から高校に問い合わせをしますので、ご連絡ください。
(受験料の振込み間違い、ケガや病気等による特別配慮の依頼、欠席連絡など)

(2) 合格発表後

- ・保護者の方が各自の責任で行ってください。

1 1 県外高校の受験について

1 受験資格の確認について

「保護者と同居していること」などの条件がある場合がありますので、事前に確認が必要です。
できるだけ早く、学級担任へ相談してください。

- (1) 公立高校
 - ・中学校が各都道府県教委に確認をします。
 - ・出願にあたっては、転居先の住民票や転勤を証明する書類の写しなどが必要になる場合があります。
- (2) 私立高校
 - ・中学校でも確認を行いますが、各高校が開催する事前相談会等に参加し、直接確認されることをお勧めします。
 - ・高校によっては、事前相談会への参加や中学校と高校との情報交換が出願資格になっている場合があります。早めに各高校にお問い合わせください。

2 出願書類の準備について

- (1) 公立高校
 - ・中学校で準備をします。（各都道府県教委から取り寄せます）
 - ・各都道府県の収入証紙（受験料分）は保護者の方がご用意ください。

- (2) 私立高校 ・保護者の方が各自で取り寄せてください。中学校でコピーをとりますのでお子さんを通してお貸しください。

3 出願について ※出願に関わる郵送代などは保護者負担を原則とします。

- (1) 公立高校 ・入学願書の送付は中学校が行います。（当該県から指示がある場合を除く）
・県外受検者の事前承認が必要な場合は、保護者の方に関係書類を県教委や各高校に送付していただく場合があります。

- (2) 私立高校 ・保護者の方から出願していただく場合があります。中学校とよく確認してください。

※郵送（書留）の場合と、高校の窓口へ直接持参する場合があります。

- ・書類は発送前に中学校で点検させていただきます。
- ・調査書は中学校で作成してお渡しします。開封無効となりますのでご注意ください。

4 合否確認について



- ・公立、私立とも、生徒本人と保護者の方が各自で行い、確認後中学校に連絡願います。



県外高校は、都道府県や高校によって手続きが異なりますので、個別にご相談いたします。

***** 資料一覧 *****

*** 公立高等学校受検要項一覧 ⇒ 生徒用 iPad に送信**

*** 私立高等学校受検要項一覧 ⇒ 生徒用 iPad に送信**

*** 受験確認書 ⇒ 11/29 に配布予定**

*** 令和7年度高校入試 進路カレンダー（光晴中 Ver.）**

⇒ 生徒用 iPad に送信済み

*** 令和7年度入試 高校受検（受験）「私の計画」 ⇒ 生徒に配布**

*** 私立・高専出願基準確認票 ⇒ 生徒用 iPad に送信**

*** 下記については、「COMPASS」または県 HP を参照してください。**

① 公立高校の募集人数と選抜方法 ⇒ 生徒用 iPad に送信済み

② 公立高校特色選抜の実績要件 ⇒ 生徒用 iPad に送信済み